

工學士(土木)重吉君 紹介人 廣井 勇君 田井 九一君

福家今三郎君 同 直木倫太郎君 三田政五郎君

紹介人 那波 光雄君

○左ノ諸君ハ規則第三條及第四十二條ニ依リ退會セラレシニ付其氏名ヲ准會員名簿ヨリ削除セリ

准員 松橋清助君 准員 池田善四郎君 准員 白木爲政君

准員 大橋厚三郎君 准員 小倉專太郎君

拔萃

土木

○紐育市ニ於ケル道路通行規則 千九百〇三年十月八日紐育市ぼーるど、おぶ、あるたー

むノ立法委員會ニ於テ『道路通行規則』ト題セル命令案ヲ討議セリ此ノ命令案ハ千九百〇三年四月廿八日開會ノ委員會ニ提出セルモノ、訂正案ニシテ十月八日ぼーるど、おぶ、あるたーむヲ通過シ且ツ第一章第十五條中『南北ニ亘ル道路ニ於テハ必ズ道路ノ右側ヲ通行ス可シ』ト改正セラレタル外凡テ市長ノ認許ヲ經タリ此規則ニ於テ尤モ注目ス可キ點ハ『乘客ノ昇降ノ爲メ車輛停止ハ必ズ十字街道ニ達スル前ニ於テス可シ』トアルヲナリトスぶるくりん急行汽車會社ノ市街線路ハ千九百〇四年一月一日ヨリ此規則ヲ實行スル義務アルモノトス市内鐵道會社いんたーあーばん、れーるうゑー會社ノまんはつたん市内線路ニ對シテハ千九

百〇四年一月十四日以降有効ナルモノトス

警視廳ハ乗馬通行者ニ關スル規程ヲモ包含シ此新命令案ヲ印刷配布セリ且ツ主要ナル十字街道ニハ通行ノ方向ヲ指示セル記號ヲ掲ゲタリ

道路通行ニ關スル命令

第一章 道路通行規程

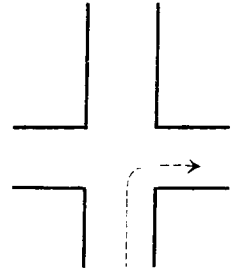
第一條 車輛ハ右側ニ停メ置ク^レ、車輛ハ凡テ右側ニ且ツ右側ノ「土止メ」ニ尤モ接近シテ停メ置ク可シ

第二條 車輛ノ出會 途上他ノ車輛ニ出會シタル時ニハ各車輛ハ各々他ノ右側ヲ通行ス可シ

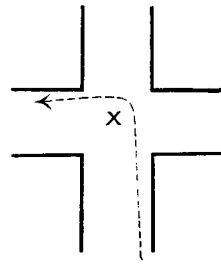
第三條 他ノ車輛ニ追及スルトキ、他ノ車輛ニ追及セルトキハ其ノ車輛ノ右側ニ沿ヒ追ヒ越ス可シ

第四條 御者又ハ車輛ニ對シ責任ヲ負ヘル者ハ凡テ街角ヲ屈折シ又ハ土止線ヨリ發車シ或ハ土止線ニ停車スル前必ズ其動作ニ依リテ他ノ車輛ヲ妨ゲザル様充分餘地ノ存スルヤ否ヤヲ確ム可シ且ツ自己ノ動作ヲ知ラシムルニ充分明瞭ナル信號(視感又ハ聽感ニ依ル)ヲ與フ可シ

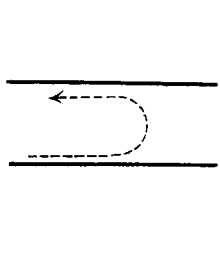
第五條 街角ヲ右折スル場合、他ノ街道ニ行カンガ爲メ街角ヲ右折セントスル車輛ハ第一圖ニ示セルガ如ク可及的土止線ニ接近シテ他街道ニ右折ス可シ



圖一第



圖二第



圖三第

第六條 街角ヲ左折スル場合、他ノ街道ニ行カンカ爲

メ街角ヲ左折セントスル車輛ハ第二圖ニ示スガ如ク
他ノ街道ニ屈折スル前街道交叉中心點ノ右側ヲ通り
之レヲ過ギタル後左折ス可シ

第七條 街道ヲ横ギル場合、街道ヲ横ギラントスル者

ハ第二圖ニ示セルガ如ク街道ノ他ノ側ヲ通行ノ際取
ル可キ方向ヲ取ル便宜ナル様左折シテ横ギルベシ
第八條 土止ニ於ケル停車 凡テノ車輛ハ其左側ヲ土
止メニ沿ハシメ停車ス可ラズ

第九條 人道ニ於テ車輛ノ前進、背進其他、凡テ普通ノ

荷車ヲ曳ク人或ハ普通ノ荷車、四輪車及ビ其他ノ車輛
ニ對シ責任ヲ有スル者ニシテ左ノ諸項ニ遵ハザルハ
不法行爲ナリトス

一、後ニ掲ゲタルモノヲ除クノ外「市街」ト稱セラル、
範圍内ニ於ケル何レノ街道ノ人道ニ於テモ荷車、四
輪車及其他ノ車輛ヲ前進又ハ背進ス可ラズ

二、街道ノ交叉又ハ横小路ニ沿フテ通行スル旅行人ヲ遮ギリ又ハ障害スル虞アル様街道ノ
交叉又ハ横小路ニ於テ荷車又ハ四輪車其他ノ車輛ヲ停メ置ク可ラズ

三、荷積ミ又ハ荷卸シノ爲メニ非ラザレバ市街ト稱セラル、範圍内ニ於ケル街道ヲ横ギリテ街道ノ交叉又ハ横路ニ荷車其他ノ車輛ヲ停メ置ク可カラズ

但シ如何ナル者ト雖トモ荷積ミ又ハ荷卸ニ必要以上ノ長時間街道ヲ横ギリテ荷車其他ノ車輛ヲ停メ置ク可ラズ併シ土止石ニ接近シテ鐵道ノ布設セラレ有ルガ爲メ其鐵道如何ナルモノニテモヲ通行スル車輛ニ妨害ヲ與フル虞ナクシテ其店先キノ車道ニ荷車又ハ其他ノ車輛ヲ停メ置キ能ハザル場合ニシテ且ツ其ノ商品貯藏所荷物倉庫其他ノ建築物ノ玄關又ハ店先キト其車輛ノ間ヲ徒步者ガ通行スルニ充分ナル餘地存スル場合ニ於テハ其商品貯藏所荷物倉庫其他ノ建築物ノ所有者又ハ占有者ハ其業務時間ヲ限リ人道ニ於テ其荷車其他ノ車輛ニ必要ナル範圍ノミヲ占領スルコトヲ得

四、如何ナル場合ニ於テモ「廣通り」(ぶろーど)及第五十九番街道以南ノ「五通り」(ふいふすあべにゆ、さうす、おぶ、ふい、ふち、ないんす、すとりのと、公園通り(ぱーく、ろー)ニ於ケル車道ヲ横ギリテ荷車、四輪車其他ノ車輛ヲ停メ置ク可ラズ又廣通り及第五十九番街道以南ノ「五通り」ニ於テハ土止ニ並行シテ且ツ尤モ接近シアル場合ヲ除クノ外荷車、四輪車其他ノ車輛ヲ止メ置ク可カラズ

第十條 現在荷積ミ又ハ荷卸シ中ノモノヲ除クノ外土止メヲ背面トシテ車輛ヲ停メ置ク可カラズ

第十一條 土止線ニ接近シテ停車ノコト、土止線ニ尤モ接近セル場合ヲ除クノ外他ノ車輛(即チ第十六條、第十七條、第十八條ニ掲ゲタル)又ハ徒步者ヲシテ道ヲ横斷セシムル場合又ハ

不時ノ事變ノ際ヲ除クノ外當市ノ公道又ハ大道ニ於テ停車ス可ラズ

第十二條 橫斷通行ヲ遮ギルコト、乗客ノ昇降荷積ミ荷卸シ又ハ不時ノ障害、事變又ハ警官

ニ依リテ停車ヲ命ゼラレタル場合ヲ除クノ外市街ノ通行橫斷ヲ妨グル様停車ス可ラズ

第十三條 凡テノ車輛ハ街道ノ交叉個所又ハ街角ヨリノ距離十尺以内ニ停車ス可ラズ

第十四條 地表上ヲ進行スル車輛ノ乗客昇降、地表上ヲ進行スル車輛ハ街道ノ交叉ニ達ス

ル手前ニ停車シ乗客ヲ昇降セシムベシ

第十五條 道路通行權、當市ノ公道又ハ大道ニ於テ南方ヨリ來リテ東方及ビ北方、西方等ニ

行カントスル凡テノ車輛ハ北方東方及ビ南方、西方ニ行カントスル車輛ヨリモ先立チテ道

路ヲ通行スル權利ヲ有ス

第十六條 特種車輛ノ道路通行權、各種ノ防火器ヲ所持スル消防局官吏、人夫又ハ火ノ番巡

邏ガ火事場ニ往復スル途中又ハ火事場ニ執務中又ハ負傷者運搬車及ビ警視廳ノ官吏、人夫

車輛又ハ後ニ掲ゲタル如キ警官ヨリ認許セラレタル醫師ハ合衆國郵便車ヲ追越スコトノ

外如何ナル街道ニ於テモ又如何ナル行列ヲモ貫通シテ道路通行權ヲ有ス

警視廳ハ適當ナリト認定セラレタル醫師ニ對シ其申請ニ依リテ第一項記載ノ如キ道路通

行權ヲ附與スルコトヲ得但シ此權利ハ他人ニ讓渡スコトヲ得ザルモノトス

第十八條 速度ノ緩減又ハ停車ニ對スル信號、車輛ガ其速度ヲ緩減シ又ハ停車セントスル

トキ之レヲ後方ノ車輛ニ知ラシメシメシメシメシメシメシメシメシメシメシメシメシメシ

第十九條 自動車又ハ原動機ヲ裝置セル車輛ヲ驅ル人ハ凡テ頑固ナル馬ニ乘リ又ハ驅ル人

或ハ其他ノ家畜ヲ驅ル人ヨリノ請求又ハ垂直ニ手ヲ揚ゲ信號セル場合ニハ直チニ其自動車ヲ停車シ且ツ前記ノ如キ馬又ハ家畜ヲ通過セシムルニ必要ナル時間ヲ經過スル迄停車シ居ル可シ

第二十條 徐行スル車輛、緩速度ノ車輛ハ急速度ノ車輛ヲシテ其左側ニ沿ヒ追越スニ適當ナル様常ニ可及的右側ノ土止線ニ接近シテ進行ス可シ（未完）

B、T

機 械

○機關車ニ於ケル飽和蒸汽ト過熱蒸汽トノ比較試驗 普國ふれすろー鐵道局ノすどろー（Stran）氏ハ機關車ニ於ケル飽和セル蒸汽ト程能ク過熱セラレタル蒸汽トノ比較試驗ヲナセリ即チびーろつく（Pielock）ノ過熱器ヲ備ヘタル二個ノ高速度機關車ト之レト同様ノ機關車ニシテ過熱器ヲ備ヘサルモノ二個ニ就テ之ヲ行ヒタリ今其報告ニ記載セル成績ヲ摘録スレハ左ノ如シ（本年四月一日ぶらくちかるいんじにあ）

- 一、過熱器ヨリ噴出スル蒸汽ノ温度ハ二百六十度ニシテ蒸發スル水ニ對スル節約ハ約十六ばーせんと石炭ノ消費高ニ對スル節約ハ十二ばーせんと又汽兜ニ於ケル蒸汽ノ平均温度ヲ二百三十度トスレハ其蒸汽ノ節約ハ約十ばーせんとニ當レリ
- 二、比較セル各種機關車ニ於ケル蒸汽ノ消費ハ同一ノ工程ニ對シテハ其量相等シ
- 三、蒸發セル水ノ重量ハ各種蒸汽ノ比較容積ニ反比例ヲナシ比較重量ニ正比例ヲナセリ得ル所ノ蒸汽ノ節約ハ過熱ニ基ケル蒸汽ノ比較容積ノ増加ニ相應ス